

(関係部署等にご回覧下さい。)

## 建設ロボットフォーラム2003 - 維持保全・防災と環境への対応 - 参加のご案内

会 期：2003（平成15）年7月18日（金）  
 第一部（講演） 13：30～17：35  
 第二部（懇親会） 17：40～19：00  
 会 場：社団法人 土木学会（東京都新宿区四谷一丁目無番地、TEL：03-3355-3441）  
 （JR中央線、地下鉄丸ノ内線・南北線「四ツ谷駅」下車徒歩5分）  
 主 催：建設ロボット研究連絡協議会  
 （社）土木学会、（社）日本建築学会、（社）日本ロボット学会  
 （財）先端建設技術センター、（社）日本建設機械化協会、（社）日本ロボット工業会  
 参加費：5,000円（懇親会費を含む）  
 定 員：150名（定員になり次第締め切らせて頂きます。）  
 趣 旨：

今般、建設ロボット研究連絡協議会が中心となり建設ロボット関連6団体共催による「建設ロボットフォーラム2003 - 維持保全・防災と環境への対応 -」を開催することになりましたので、ここにご案内申し上げます。

我が国におけるロボット技術（RT）、情報処理技術（IT）などの急速な進歩は、従来極めて困難とされていた建設工事の分野における高度な省力自動化・ロボット化の実現を可能にしました。

また、建設分野における自動化・ロボット化への着実な歩みのもと、建設ロボットに対する社会的ニーズも高まり、現在はその効果的な活用が強く望まれています。

このような背景のもと、我が国における土木・建築をめぐる諸問題を踏まえて建設分野へのロボット導入の課題と将来を展望いたします。

本フォーラムのテーマは、「維持保全・防災と環境への対応」として 建設ロボットへの適用が期待される最先端の技術研究の現状とその成果について、我が国の当該分野の研究を代表する先生方にご講演を頂きます。

関連する各分野における関係各位の積極的なご参加を頂きますよう、お願い申し上げます。

~~~~~ 建設ロボットフォーラム2003参加申込書 ~~~~~

\* 必要に応じてこの様式をコピーし、1人1葉でFAXにてお申し込み下さい。

（社）日本ロボット工業会建設ロボットフォーラム事務局行（FAX：03-3578-1404）

申込締切：平成15年7月11日（金）必着

|                 |                                                          |
|-----------------|----------------------------------------------------------|
| (フリガナ)<br>機 関 名 |                                                          |
| 所属・役職           |                                                          |
| (フリガナ)<br>氏 名   |                                                          |
| 住 所             | 〒                                                        |
| T E L           |                                                          |
| F A X           |                                                          |
| E-mail          |                                                          |
| 必要書類            | 必要なものにお付け下さい。<br>1. 請求書      2. 見積書      3. 納品書      通ずつ |

なお、お申込を確認の後、参加費のお振込銀行口座をお知らせするとともに必要書類・登録証をお送り致します。

# プログラム

(都合により講演題目等の一部変更があることをお断り致します。)

## < 第一部：講演 >

- ・ 13 : 30 ~ 13 : 35 開会挨拶 (5分) (建設ロボット研究連絡協議会会長 嘉納成男)
  
- ・ 13 : 35 ~ 14 : 35 基調講演 (60分)  
題目：社会資本整備と維持管理・更新需要の動向  
講師：金澤文彦氏 (国土交通省総合政策局政策課)  
概要：昨今の経済・社会情勢、社会資本整備に関し顕在してきた課題、対応する新たな取組みを紹介する。特に投資制約のもと維持管理・更新需要の増大を予測し、社会資本整備・管理の方向性について論じる。
  
- ・ 14 : 35 ~ 15 : 15 維持保全 (40分)  
題目：鉄道トンネルにおける維持管理技術  
講師：小西真治氏 (財団法人鉄道総合技術研究所)  
概要：平成10年の山陽新幹線のトンネル覆工剥落事故以降、鉄道総研を含む鉄道事業者は鉄道トンネルの検査・診断技術の自動化に取り組んでいる。それらの現状と今後の課題や展望について紹介する。
  
- ・ 15 : 15 ~ 15 : 30 休憩 (15分)
  
- ・ 15 : 30 ~ 16 : 10 リニューアル (40分)  
題目：建築リニューアル工事における機械化・自動化システムの構想とその適用性評価 - 建築業協会ロボット専門部会報告 -  
講師：前田純一郎氏 (清水建設株式会社)  
概要：リニューアル工事の現状と問題点、改善課題や機械化・自動化への要望などの調査結果を踏まえて、躯体、外壁、内装各工事について機械化・自動化の構想案を検討し、技術的課題や実現条件の明確化、及び適用した場合の効果の事前評価について報告する。
  
- ・ 16 : 10 ~ 16 : 50 防災 (40分)  
題目：消防防災ロボットの現状と課題、そして最近の動向  
講師：天野久徳氏 (独立行政法人消防研究所)  
概要：消防の現状を概説するとともに、消防が使用しているロボットを紹介し、消防防災ロボットの課題点と今後の課題を検討する。また、最近の関連の研究プロジェクトの紹介、研究の動向について述べる。
  
- ・ 16 : 50 ~ 17 : 30 環境保全 (40分)  
題目：土壌・地下水の浄化技術および施工装置  
講師：廣瀬 朗氏 (株式会社竹中工務店)  
概要：平成15年2月に「土壌汚染対策法」が施行され、土壌・地下水の調査対策が義務付けられるようになった。本報告は市場が伸びつつある土壌・地下水汚染の調査・対策の実際を概説すると共に今後求められる機械・装置について述べる。
  
- ・ 17 : 30 ~ 17 : 35 閉会挨拶 (建設ロボット研究連絡協議会副会長 神崎正) (5分)

## < 第二部：懇親会 >

- ・ 17 : 40 ~ 19 : 00 懇親会 (80分)

~~~~~  
問合せ先・申込先：

社団法人 日本ロボット工業会 建設ロボットフォーラム事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園3 - 5 - 8 機械振興会館

TEL : 03-3434-2919、FAX : 03-3578-1404、E-mail : event@jara.jp 、 http : //www.jara.jp/